医　農文協の全集
身体と精神の関わりの総体を扱う生命科学

医学（医療）は対症療法に専念し、健康学は栄養学に矮小化され続けた。しかしようやく、明治期に現われて消えた「病は食から」の食養思想や「食育」という考え方が復活しつつある。医療と健康は二つの顔をもつ一つの分野、つまり人間の身体と精神の関係性を扱う分野（生命科学）だと考えるのが農文協の立場である。結果として、衛生、保健、薬剤、医療活動にかかわる全集・専門書が多くなっている。

叢書 日本漢方の古典
全3巻 粟島行春編訳 B5判・上製・箱入 ●揃価52500円

日本漢方は、中国の伝統医学（中医学）とは別個の実証的医学として江戸中期に独自化した。これは『傷寒論』の科学的・実証的精神への回帰をめざし、東西医学の結合を指向する。「叢書 日本漢方の古典」は、この日本漢方の起源・展開・深化の過程を示す画期的著作を選び、原文・翻刻・現代語訳・注解・解説・索引を付したもの。第一巻『醫心方 食養篇』は、わが国最古の医書「醫心方」の掉尾、食こそ生命の原点とする「食養篇」。第二巻『建殊録――東洞医学の成果』は、『傷寒論』研究に没頭した吉益東洞の業績を集成。第三巻『医聖永富獨嘯庵』は、山脇東洋門下の俊英・永富獨嘯庵の生きざまと医業の全体像を再現し、日本漢方の一つの極致を示す。（第1巻 490頁、16800円、第2巻 486頁、16800円、第3巻 582頁、18900円）

安藤昌益全集 増補篇
全3巻 A5判、上製、箱入 各巻CD－ROM付●揃価45000円

「安藤昌益全集」増補篇は、自然と人間の有機的な結合と「治未病」をめざす「天人一和」の昌益医学に焦点をあてる。増補篇一は、新発見の『良中子神医天真』『良中先生自然真営道方』（ともに内藤記念くすり博物館蔵）の書き下し・注。増補篇二、三は焼失した昌益医学本を再現した『真斎謨筆』（全集十五巻所収）の現代語訳を収める。各巻の解題、解説や別冊の「昌益医学ハンドブック」も明解で便利。

また、各巻に「電子版安藤昌益事典」「電子版安藤昌益全集〈全文書き下し篇〉」「電子版安藤昌益全集〈章句検索篇〉」のCD－ROMを付す。膨大な昌益の思想体系を自在・瞬時に検索し、読むことができる。（増補篇一 東均・新谷正道編著、増補篇二 中村篤彦編著、増補篇三 中村篤彦編著【別冊附録】昌益医学ハンドブック、各巻15000円）

丸山博著作集
全3巻 A5判、上製 ●各3500円、揃価10500円

「いのちは食なり」。これが森永砒素ミルク中毒事件の追跡調査などで社会の矛盾と生命の危機を厳しく追及した丸山博の到達点だった。「衛生とは生命・生活・生産を衛ることである」とする丸山衛生学の精髄を①公衆衛生学の研究②保健師・養護教諭らの運動論③いのちの問題としての食の考察（インド伝承医学研究を含む）…の三巻に編成。地域福祉や食の安全・安心の問題が深刻さを増している今日、色褪せることなく示唆に富む。

1 死児をして叫ばしめよ　288頁
2 いま改めて衛生を問う　320頁
3 食生活の基本を問う　320頁

戦後日本病人史
川上武著 A5判、844頁●12000円

医学史でも疾病史でもない「病人史」という視点。この方法で初めて、人間の生命を脅かす病気と社会と医療の関係が明確になる。治療現場に立つ医師であり、社会視点を持つ医事評論家でもある川上だからこそできた仕事。被爆者、ハンセン病、公害病から遺伝子操作・クローン技術など高度先端医療の進展まで、激動の二十世紀後半が全一七章にわたってまとめられており、かつ、膨大な注で参考文献が示されている。医療関係者の必読文献であり、戦後社会史研究の金字塔でもある。

正木健雄選集 希望の体育学
正木健雄著正 木健雄選集編集委員会編 A5判、510頁●7200円

21世紀をこそ子どもの世紀に―正木は、軍国主義教育の先兵だった体育を子どものための体育に転換するために研究し、発言し、運動を組織してきた。NHKで取り上げられて話題となった「背中ぐにゃ、朝からあくび」など子どもの問題を発見するための努力と、その解決法を求める研究の数々。時代の矛盾をもっとも端的に表現する「子どものからだ」から出発して、分析して細分化するのでなく、子どもを取り巻く状況そのものへの働きかけを課題としていった正木の足跡と、後に続く世代に託された課題がよくわかる。

サービスとしての医療
中川米造著 B6判、210頁●1631円

医療倫理学、医療人類学の重鎮として活躍した中川は、丸山博のアーユルヴェーダ研究会の副会長でもあった。限りなく商品化する医療に警鐘を鳴らしながら、あえて医療をサービスと呼ぶ。患者は「お客様」ではないし医師は科学者でもない。医療のパラダイム転換の原点を示す。

医学の不安
沼田勇著 B6判、246頁●1200円

医学が進歩すればするほど、人間は滅亡へ向かう―医博で北里研究所員だった著者はいま、日本綜合医学会の永世名誉会長として食養の道を説き、齢九十を越えてなお禅門での修行を続ける。病気と文明の一万年史を縦糸に、東洋的・仏教的な思考方法を横糸に現代の危機の本質を描いた。

短命化が始まった
農文協文化部著 B6判、242頁●1280円

短命化が進むかつての長寿村（山梨県桐原）。むら人はなぜ長寿食を自らすすんで捨てたのか。現地調査報告が明かす一山村の食生活の変貌は戦後日本の縮図。「強いられた自給」でなく「開かれた自給」をこそ取り戻したいという結論は、いま新鮮に響く。

イブの出産、アダムの誕生
きくちさかえ著 B6判、250頁●2100円

水中出産、イルカとお産、シャーマンとお産…医療化された出産の殻を破る内外のキーパーソン18人と、日本のマタニティ・コーディネーターの草分けである著者との出会いの記。誕生といういのちのつながりの場が、自然と人間との調和を取り戻す可能性を示す。

★医療者による医学への自省

構造薬害	片平洌彦著	1950円
背徳の生命操作	市川茂孝著	1365円
ヒトの死が変わる	吉村不二夫著	2039円

★医の思想の全体性を取り戻す試み

飛騨の夜明け	海野金一郎著	1050円
老いと健康の生命科学	藤井平司著	1937円
二度わらべの母と生きる	中島誠著	1380円
病のかげに横たわるもの	小崎順子著	1365円

農文協 全人医療の先駆 甦る「未病の学」の水脈

安藤昌益全集
増補篇 全3巻

日本漢方史上 独自の医学思想の発見

名処方「安肝湯」を案出した名医でもあった昌益の医学思想を明らかにする新資料発見！ 医学そのものの凶器性に警鐘を鳴らし、予防医学から臨床、そして社会医学まで網羅する独自な医学体系の全貌。A5判、上製、箱入、各巻CD－ROM付●各15000円、揃価45000円

増補篇 第1巻（資料篇四）
良中子神医天真 良中先生自然真営道方
翻刻・注・解説 東均・新谷正道編著 2001年に内藤記念くすり博物館で発見された資料。前者は、焼失した稿本「自然真営道」の医学論や天文論を再現。後者は、昌益の処方集。付録CD－ROM1 電子版安藤昌益事典 全集別巻「安藤昌益事典」を電子化。人名・書名等索引、文献目録、解説用語例など。

増補篇 第2巻（資料篇五上）
真斎謨筆 天・地・人（上）
現代語訳・注・解説 中村篤彦編著 昌益の病証論、処方を記録・再現した資料。今回初めて現代語訳を掲載。付録CD－ROM2 電子版安藤昌益全集・全文テキスト篇 全集収録の全著作の全文（書き下し文）を収録（現代語訳は含まれません）。

増補篇 第3巻（資料篇五下）
真斎謨筆 天・地・人（下）
中村篤彦編著【別冊附録】昌益医学ハンドブック 付録CD－ROM3 電子版安藤昌益全集・章句検索篇 2に収録された全文テキストを、「自然」「直耕」などキーワードの使用例で検索。

叢書 日本漢方の古典

【全3巻】粟島行春編訳 外邪（病因）に打ち勝つために人体の生命力を高める―日本漢方の精髄＝未病の精神を体現した古典を精選。復刻・書下し・注解・現代語訳、B5判・上製・貼箱入り・布クロス装

医心方 食養編
日本最古の医書の食養編。食こそ生命の原点という漢方の基本＝医食同源のバイブル。●16800円

建殊録 東洞医学の成果
江戸中期に台頭した古方派（強い薬による積極的な治療を目指す）の巨頭・吉益東洞の主要著作。●16800円

医聖 永富独嘯庵
山脇東洋門下、西漢折衷医学の俊英の主要著作。古方医学の理論確立と実践的検証。●18900円

ご注文は　農文協〒107-8668　東京都港区赤坂7-6-1　☎03(3585)1141　FAX.03(3589)1387　URL=http://www.ruralnet.or.jp/　価格は税込